

APEX が上達する方法！

5年3組 相馬亨

1. 調べたきっかけ

×わたしが大好きなゲームは APEX（エーペックス）です。APEX はオンラインゲームで、人と対戦して成績を競います。APEX にはランクというシステムがあり、上手な人ほどランクが上がっていきます。特にプレデターというランクは、世界で上位 750 人しかありません。どうしたらそこまで上手になれるのか気になりました。そこで、APEX を上達させる方法について調べることにしました。

2. 調べ方

×大きく二つの方法で調べました。まず、インターネットで APEX に関するブログを読みました。上達するための方法を見つけて、くわしく読むようにしました。次に、プレデターの友達にインタビューをしました。

3. 調べて分かったこと

（1）うまい人のプレーを見る

うまい人のプレーをまねすることはとても大切だと分かりました。YouTube の動画や、プロゲーマーの配信を見て、動きや立ち回りを学ぶとよいそうです。どんなときにどの武器を使うか、どうやって相手を倒すかを観察して、自分のプレーに取り入れることが大事だと教えてもらいました。

（2）目標をもつ

「今日は 10 人倒す」「ランクを〇〇まで上げる」など、毎回目標を立ててからプレーすると、集中力が高まると分かりました。小さな目標でも、少しずつ達成していくと自信につながり、もっと上を目指したくなるそうです。

（3）プレーを振り返る

自分のプレーを振り返ることがとても大事だと感じました。特に、ミスをした場面をもう一度見て、「なぜ負けたのか」「どうすれば勝てたか」を考えることが上達につながると知りました。友達は、自分の動画を撮って見直すといいよ、と教えてくれました。

（4）基礎練習を続ける

上手な人ほど、毎日基礎練習をしているそうです。射撃練習場でエイムを合わせる練習をしたり、キャラクターの動きを正確にする練習をしたりして、地道に力をつけていることが分かりました。これからは、わたしも毎日少しずつ基礎練習を続けたいと思います。



4. まとめ

×今回の調べ学習で分かったことは、APEX でも上達するには、うまい人のプレーをまねしたり、目標を決めて練習したり、基礎練習を続けることが大事だということです。これらは、勉強やスポーツでも同じように大切なことだと気づきました。わたしは、ゲームでも勉強でも、あきらめずに練習を続ける

ようにしたいと思います。

<参考> ヒサシ【APEX 大学】“上達の全て【上手になると楽しいです】

https://note.com/hisashi_apex/m/m1af2eb5396af (参照 2023-06-15)

A 評価

バスケットボールでエースになるために

5年3組 相馬亨

1. どうしてこのことを調べようと思ったか

×わたしが大好きなスポーツはバスケットボールです。試合で大活やくしているエースの人は、なぜあんなに上手なのか気になりました。そこで、バスケットボールでエースになるためには何が大事か調べてみようと思いました。

2. どのように調べたのか

×バスケのコーチや友達に話を聞いたりして調べました。特に、チームで活やくしている友達にインタビューをして、くわしい話を聞きました。

3. 分かったこと

まず、うまい人のプレーを見てまねすることが大事だとわかりました。プロの試合を見たり、友達の上手なところを見たりすることで、自分のプレーに生かせるそうです。

それから、コーチや先生が言うことをしっかり守るのも大事だと感じました。自分だけのやり方ではなく、アドバイスを取り入れることが上達につながるとわかりました。

さらに、毎日の練習を大切にしている人ほど上達していることがわかりました。パスやドリブルのくり返し練習が大事だと、友達からも聞きました。

4. まとめ

×バスケットボールでエースになるためには、うまい人を見てまねすることや、コーチのアドバイスを大切にすること、そして地道に練習を続けることが大切だとわかりました。わたしも、これからは練習のしかたを工夫して、あきらめずにがんばっていきたいと思います。

<参考> 高原さと 「1本の線からはじめる 絵の描き方教室」2024年

A 評価

マンガキャラを上手に描くコツ

5年3組 相馬亨

1. どうしてこのことを調べようと思ったか

×友だちが描いたマンガキャラがとても上手だったので、どうやってそんなふうに描いているのか気になりました。ぼくも好きなキャラをもっとキレイに描きたいと思い、コツを調べてみることにしました。

2. どのように調べたのか

×学校の図書室や図書館で「マンガ 描き方」に関する本を3冊借りて読みました。次に、絵が上手な友達にも時間をもらい、本に書かれていたポイントを実際に教えてもらいながら練習しました。

3. 分かったこと

×まずは、キャラのりんかくを下書きすること大事だとわかりました。細かい部分よりも、最初に大まかな形をえん筆でうすく描くことで、全体のバランスがとりやすいと分かりました。

×次に、目やかみなどのパーツはていねいに描くことが大事でした。図書室で借りた本には、目の形やハイライトの入れ方、かみの流れの描き方が詳しく図で書いてあって、それをまねするとキャラが生き生きして見えることが分かりました。

×最後に、色をぬるときは暗い色を下に重ねることです。かげになる部分を先にこくぬり、その上から明るい色を重ねると、立体感が出ると本に書かれていました。実際にためしてみると、たいらになりがちな服のしわやかみのボリュームがはっきりと表現できました。

4. まとめ

×マンガキャラを上手に描くには、本で紹介されている下書きのバランスのとり方や、目・かみパーツのていねいな描き方、色ぬりの順序などのコツを実践することが大切だと分かりました。どれも身近な本に書かれている方法なので、これからもくり返し練習して、自分だけのキャラを描けるようにがんばりたいと思います。